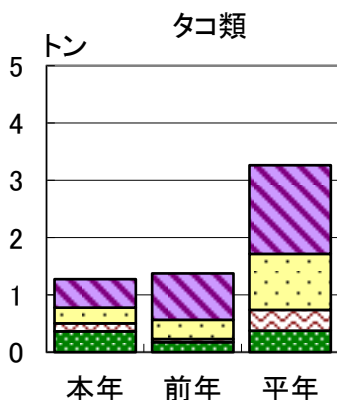
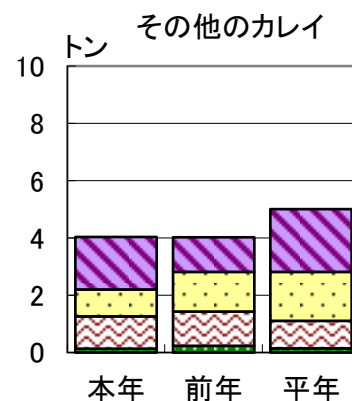
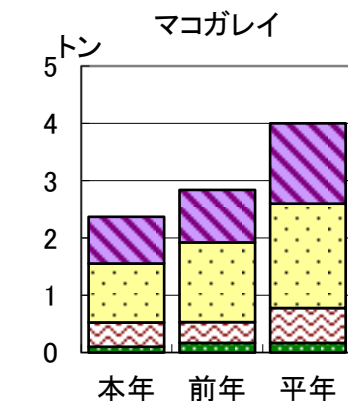
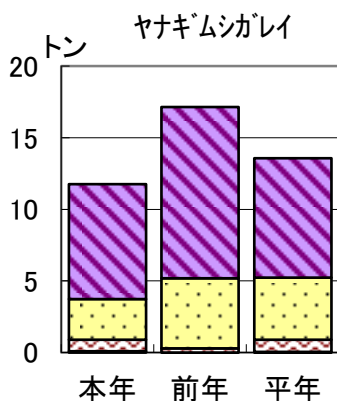
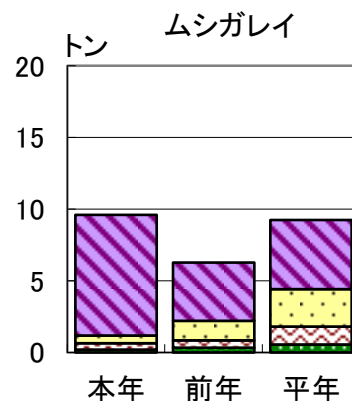
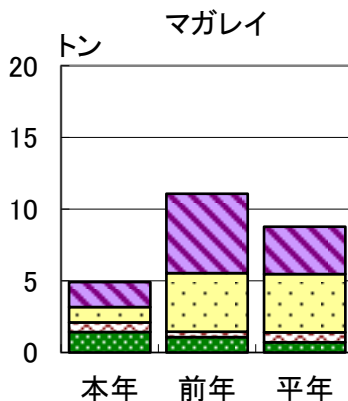
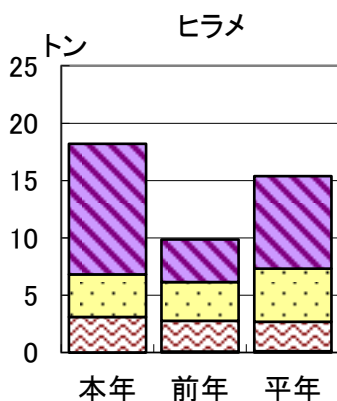


◎板びき網 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年10月分）

単位：トン

魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北	11.40	1.74	8.43	8.03	0.81	1.84	0.50
岩船	3.70	1.09	0.53	2.84	1.03	0.93	0.27
新潟	3.05	0.67	0.45	0.79	0.42	1.13	0.14
二見	0.04	1.42	0.20	0.10	0.10	0.14	0.36
計	18.19	4.92	9.61	11.76	2.36	4.04	1.27
前年	9.85	11.08	6.28	17.14	2.84	4.03	1.37
5年平均	15.38	8.77	9.24	13.57	4.00	5.01	3.26



山北
 岩船
 新潟
 二見

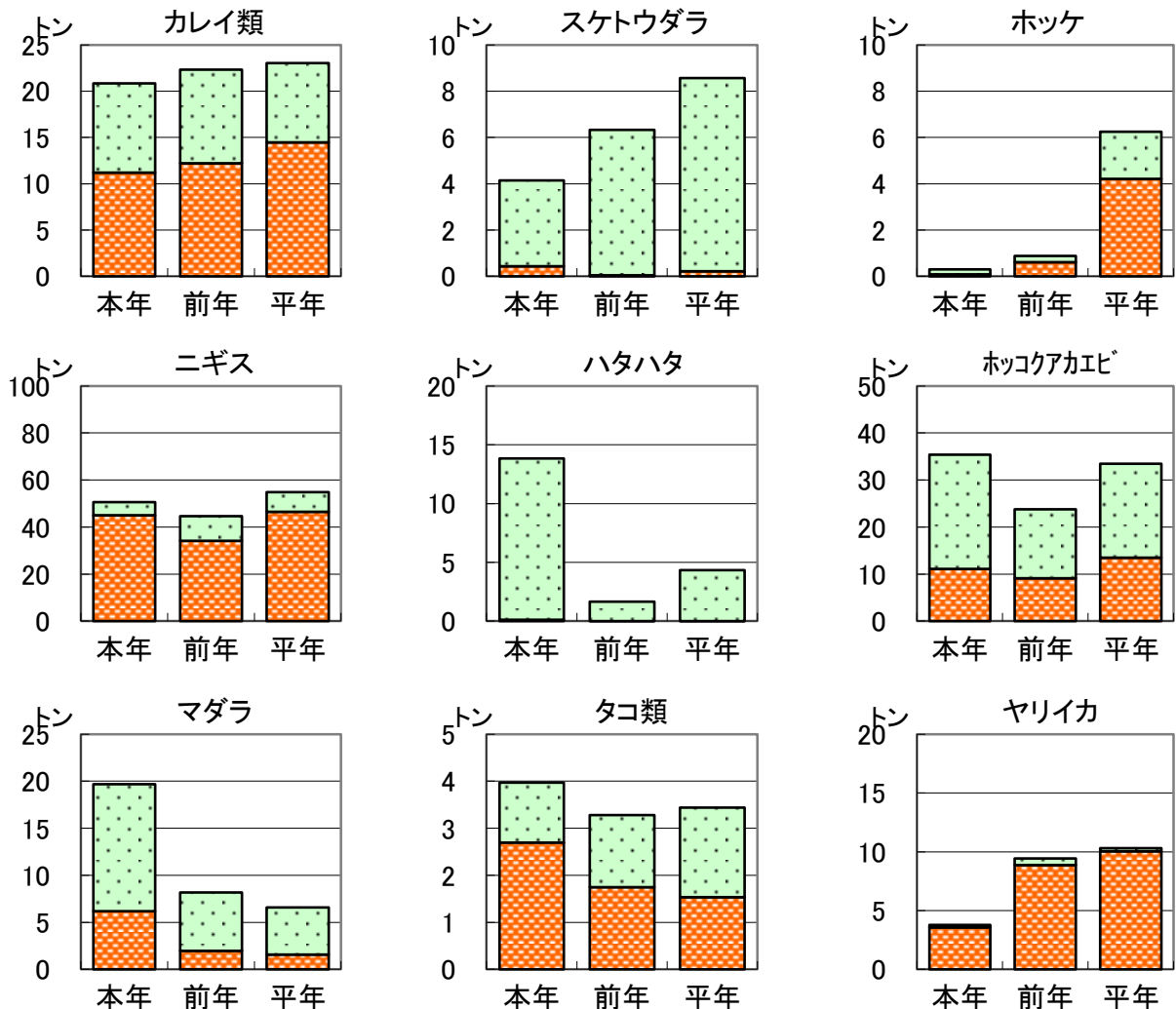
・10月の延べ出漁隻数は前年比91%、平年比73%でした。
 ・主要4地区の漁獲量は83トンで前年比80%(金額80%)、平年比72%(金額71%)となり、前年及び平年を下回りました。
 ・ヒラメは前年を大きく上回りました。サイズは全長40cm前後が前年より多く、漁獲の主体は30cm前後でした。
 ・マガレイは前年の半分以下の水揚げで、平年も下回りました。サイズは体長15~20cmが主体でした。
 ・ヤナギムシガレイは前年を下回り、平年並みでした。サイズは体長15cm前後が主体でした。
 ・タコ類は前年並みでしたが、平年を大きく下回り、低調が続いています。

◎底びき網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年10月分）

単位:トン

地区	魚種	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北	北	4.08	3.59	0.21	2.18	13.28	0.93	11.99	0.88	0.16
岩船	船	1.69	0.12	0.00	0.41	0.44	0.10	1.11	0.28	0.04
新潟	潟	3.88	0.00	0.01	2.88	0.00	23.27	0.40	0.12	0.00
出雲	雲崎	5.70	0.40	0.02	4.72	0.00	0.01	0.33	1.28	0.32
名立	立	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	1.86	0.06	0.01	0.00
筒石	石	3.18	0.01	0.05	23.97	0.04	0.02	5.36	0.99	2.55
能生	生	2.27	0.03	0.01	16.39	0.08	7.58	0.40	0.41	0.69
糸魚川	川	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	1.63	0.02	0.01	0.00
計		20.85	4.15	0.30	50.55	13.84	35.40	19.67	3.98	3.76
前年		22.34	6.33	0.88	44.59	1.64	23.74	8.16	3.28	9.44
5年平均		23.02	8.57	6.25	54.91	4.33	33.46	6.57	3.44	10.32

■ 山北～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



- ・10月の延べ出漁隻数は前年比106%、平年比94%でした。
- ・主要8地区の漁獲量は275トンで前年比114%（金額107%）、平年比104%（同112%）でした。
- ・ニギスは前年及び平年並みでしたが、ハタハタは山北地区で好漁で前年及び平年を大きく上回りました。
- ・ホッコクアカエビは前年を上回り、平年並みでした。
- ・マダラは前年及び平年を大きく上回り、2倍以上の水揚げでした。
- ・スケトウダラ、ホッケは前年及び平年を大きく下回り、漁獲が少ない状況が続いています。
- ・タコ類は前年並み、ヤリイカは前年及び平年を大きく下回りました。
- ・その他の魚種（全漁法）では、マダイが前年比123%、アンコウ同90%、アカムツ同68%、ズワイガニ（雄）同88%でした。

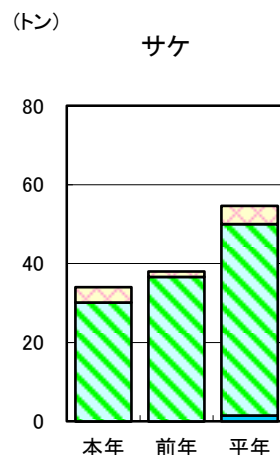
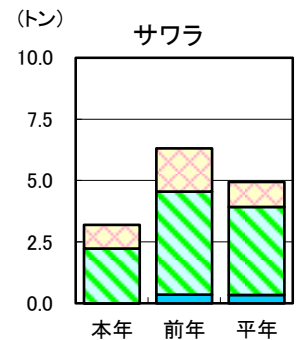
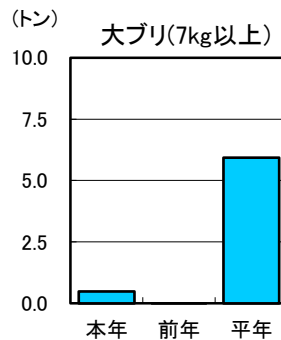
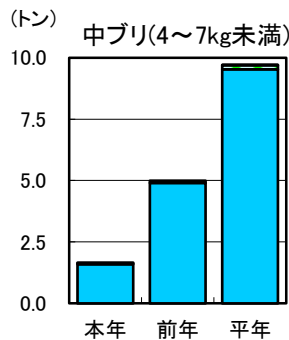
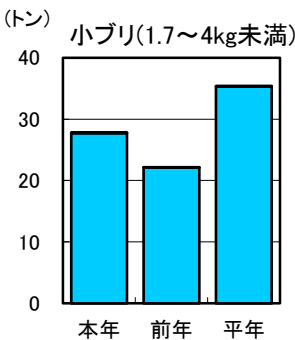
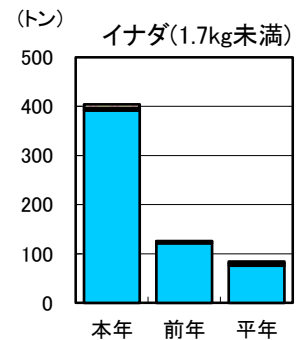
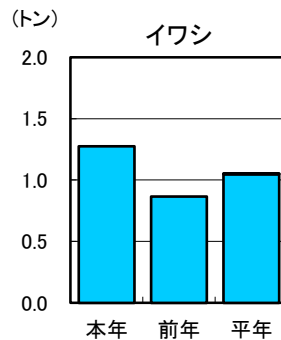
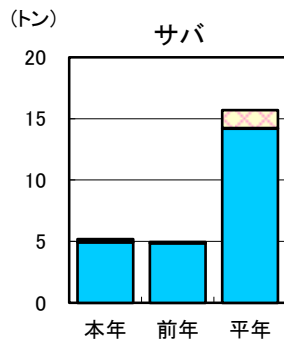
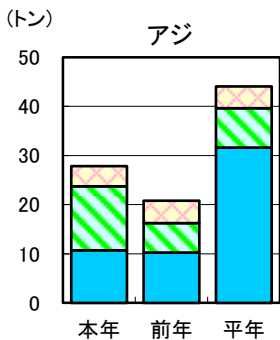
◎定置網

新潟県内主要定置網の水揚量(平成25年10月分)

単位:トン

魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	10.7	4.9	1.3	391.4	27.7	1.6	0.5	0.1	0.0
山北	5.8	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岩船	7.3	0.1	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	3.6	0.2	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
青海	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	27.8	5.2	1.3	404.0	27.8	1.7	0.5	0.2	0.0
前年	20.8	5.0	0.9	126.1	22.1	5.0	0.0	0.2	0.0
5年平均	44.1	15.7	1.1	83.9	35.4	9.7	5.9	0.2	0.0

魚種	サワラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.9	0.0	59.4	498.7
山北	0.8	18.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	28.4
岩船	1.5	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	25.4
糸魚川	0.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	11.5	27.4
青海	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.9
計	3.2	34.1	0.0	0.1	0.0	1.1	0.3	74.6	581.7
前年	6.3	38.0	0.0	0.1	0.0	1.7	0.3	58.8	285.4
5年平均	4.9	54.7	0.0	0.1	0.0	2.3	0.3	73.0	331.3



□南部(糸魚川・青海) □北部(山北・岩船) ■佐渡

○今月のグラフは、マグロに代わり10月の重要魚種であるサケを掲載しました。

- ・10月の水揚量は、両津湾でイナダが好漁であったため582トンと、前年比204%、平年比(過去5ヶ年平均比)176%でした。
- ・アジ、サバは平年を下回りました。
- ・イワシは前年、平年を上回り、今年の累計水揚量も平年を大きく上回って推移しています。
- ・ブリ類ではイナダが好漁で前年、平年を大きく上回りました。その他の銘柄は平年を下回りました。
11月に入ると中旬に両津湾で30トン程度の大ブリの水揚げがありました。
※詳しくは当所ホームページ「ブリ情報」に掲載しています
(<http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/buri.html>)
- ・サワラは前年、平年を下回りました。
- ・サケは前年、平年を下回りました。

◎まき網 (平成25年10月分)

単位:トン

	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新潟	0	144	0	3	0	5	152
柏崎	0	0	0	0	0	0	0
寺泊	0	0	0	0	0	0	0
計	0	144	0	3	0	5	152
前年	0	0	0	0	0	0	0
5年平均	110	152	0	142	1	39	444

- ・10月の水揚量は152トンと、平年比(過去5ヶ年平均比)34%でした。
- ・主体はサバで、全体の95%を占めています。
- ・サバの水揚げは11月も継続しています。

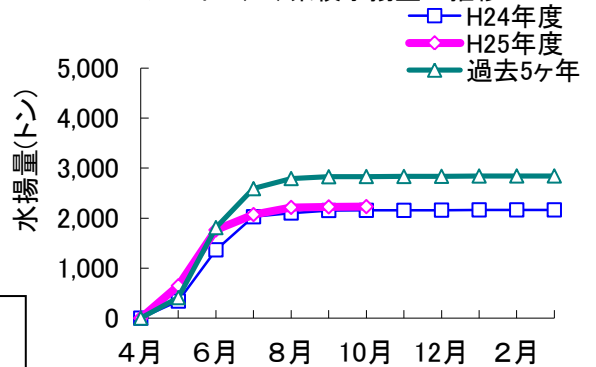
◎いか釣 県内主要地区の水揚量(平成25年10月) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北	0	0
岩船	0	0
新潟	0	0
両津	18	6
計	18	6
前年	10	3
5年平均	19	4

隻数:操業した延べ隻数

- ・10月の操業は両津地区のみで、水揚量は6トンと前年比231%、平年比(過去5ヶ年平均比)143%でした。
- ・1隻1操業あたりの水揚量は341kgで、前年比129%、平年比160%と、好漁でした。
- ・4~10月の累積水揚量は2,232トンで、前年比103%、平年比79%と引き続き平年を下回って推移しています。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

(独)水産総合研究センターや関係機関が対馬海峡や日本海で調査を実施し、(社)漁業情報サービスセンターが各機関、各府県の出現情報などを取りまとめています。

11月18日までに公表された情報では、日本海中部海域ではまとまった数の報告は無く、新潟県沿岸でも底びき網で1曳網あたり10個体以下の散発的な出現が続いています。10月下旬以降は死亡個体の割合が高くなってきています。11月5日から7日に漁業指導船「越路丸」により本県海域で実施した曳網調査では、大型クラゲは確認されませんでした。

今後は海水温の低下により大型クラゲは次第に衰弱・死滅することから、現状を超える出現は無く、徐々に終息するものと予想されます。ただし、11月に入ってから近県では傘径100cm程度の大型サイズの出現が確認されていますので、ご注意ください。

大型クラゲの情報は、ホームページにも掲載しています: <http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/2013kuragejoho.html>

◎近県の漁況…カッコ内の数字(%)は前年同月比(富山県、石川県は前年同旬比)

山形県(10月)

底曳網:マダラ29.2t(175%)、ホッケ25.1t(1605%)、タイ類16.8t(101%)、アカエビ15.3t(106%)、定置網:サケ31.4t(109%)、イナダ9.0t(164%)、アジ6.4t(167%)、採貝藻漁業:サザエ7.0t(146%)、はえ縄漁業:サワラ15.8t(581%)、タイ類2.7t(35%)

富山県(10月下旬)

フクラギ580.3t(643%)、ソウダガツオ204.5t(35%)、カマス68.8t(108%)、アジ類44.1t(107%)、ベニズワイガニ37.2t(105%)、サワラ類26.4t(261%)、アオリイカ22.9t(113%)、カワハギ類18.6t(65%)

石川県(10月下旬)

定置網:フクラギ374.8t(350%)、サワラ・サゴシ146.5t(397%)、マサバ91.6t(1553%)、マアジ84.6t(162%)、まき網:ガンド368.3t(495%)、フクラギ201.5t(179%)、マアジ195.3t(3829%)、底曳網・ごち網:ニギス54.4t(128%)、マダラ31.0t(333%)、アマエビ27.3t(182%)、刺網その他:ベニズワイガニ39.8t(127%)、ガンド7.4t(389%)、ハツメ6.7t(609%)